

関東東海北陸農業試験研究推進会議 果樹推進部会

令和8年度現地研究会 開催要領

関東東海北陸農業試験研究推進会議 果樹推進部会

部会長 農研機構 果樹茶業研究部門 児下佳子

1. 趣旨

近年は気候変動による気温上昇が大きく、夏秋季の高温では果実の日焼けや着色遅延が、冬春季の温暖化では発芽不良などの凍害や晩霜害が、果樹生産を不安定なものとしている。永年性作物である果樹では、長期的な視点から気候変動対策を検討する必要があり、その中には栽培技術はもとより品種や品目の変更も含まれる。

そこで、本年度の研究会では、気候変動に対応した栽培技術や新規の品種・品目への取組事例について話題提供を受ける。現地検討会では、早期成園化・省力化を図れる樹体ジョイント仕立てを大規模に導入したナシ生産者を視察し、今後の研究方向を検討する。

2. 開催日時・開催場所

1) 現地検討会：7月16日（木）13：30～17：00

① 広谷梨園（四街道市）

② 千葉県農林総合研究センター果樹研究室（千葉市緑区）

2) 研究会：7月17日（金）8：30～12：00

千葉県農林総合研究センター 2階大会議室（千葉市緑区大金沢町180-1）

3. 検討事項

1) 現地検討会

(1) 集合場所 ネクストサイト千葉ビル前

（千葉市中央区富士見1丁目12-17、JR千葉駅東口から徒歩5分）

(2) 現地視察（借上げバスで移動）

① 広谷梨園（四街道市）

・ 樹体ジョイント仕立ての大規模導入事例

② 千葉県農林総合研究センター果樹研究室（千葉市緑区）

・ 千葉県育成ナシ品種「秋満月」の特性と栽培技術

(3) 解散場所 集合場所と同じ

2) 研究会

テーマ「気候変動に対応する栽培技術と品種・品目選択」

(1) 話題提供

① 「果樹における高温障害の実態と対策の概要」

（農研機構果樹茶業研究部門 杉浦裕義）

② 「千葉県におけるナシ発芽不良の発生状況と春施肥について」

（千葉県農林総合研究センター 籠橋駿介）

③「富山県におけるカンキツ産地の現状と生育適応性評価の取組み」

(富山県農林水産総合技術センター 杉山洋行)

④「静岡県におけるアボカド栽培方法の確立に向けた取組」

(静岡県農林技術研究所果樹研究センター 石川隆輔)

(2) 総合討論

(3) その他

#### 4. 参集範囲

関東東海北陸地域各都県行政・試験研究機関、農林水産省農産局、農林水産技術会議事務局、関東農政局、北陸農政局、東海農政局、農業・食品産業技術総合研究機構中日本農業研究センター、果樹茶業研究部門、その他部会長が必要と認めた者

#### 5. その他

参加申し込み、資料提出、その他の詳細については、別途事務局（千葉県農林総合研究センター）から連絡する。

#### 6. 連絡先

千葉県農林総合研究センター 果樹研究室 押田正義

電話：043-291-9989

農研機構 果樹茶業研究部門果樹基盤研究領域 児下佳子

電話：029-838-6451